



町のスポーツ振興に役立てて チャリティーゴルフで集まった募金を寄付

6月24日、町商工会の清水幹久会長と多賀剛副会長が町役場を訪れ、6月9日に開催された西会津町民親善チャリティーゴルフ大会で参加者から募った募金を町に寄付しました。清水会長から寄付を受けとった薄町長は「毎年、貴重な寄付をありがとうございます。スポーツ振興のために大事に使わせていただきます」と謝意を述べました。



▲薄町長（左）に寄付を手渡す清水会長（中央）と多賀副会長（右）

町長コラム

その42



町内には、様々なまちづくり団体やグループがあり活発な活動が行われている。

先日、富士山山開き実行委員会主催による、日本で2番目に高い富士山（標高508.8m）の第9回山開きが新郷小清水地内で開催された。町内外から多くの登山者が訪れ、近年では山頂で大山さゆり太鼓の演奏が行われるなど登頂者を楽しませている。本地域には、「西会津富士の郷」という地域づくり組織があり、十数年前から大学や民間企業と連携し、桜やスイセンなどの植栽による花いっぱい運動や、富士山を活かした地域活性化に取り組んでいるほか、県や町の補助事業を活用して、花見山の整備や東屋の建設を実施している。この花見山では、昨年10月に会津耶麻地方緑化推進委員会の植樹祭が行われた。今年の春には満開の花桃の中、地域住民の花見会が行われ、私も出席し皆さんとの楽しい時間を過ごした。

令和5年2月、地域の人口減少が進む中で、奥川の地域を後世に残すための取組みを実践する「奥川地域づくり協議会」が設立された。会の目的は、地域の自慢と誇りを再確認し、地域の様々な課題を解決するための実践

を通して、地域住民の福祉増進、産業振興、生活文化の振興と地域資源を活用した活性化を図るとともに、協働による持続可能な地域づくりについて、地域を挙げて取り組むこととしている。本年3月には「未来型『結』」の精神で、未来（次世代）につなげるまちづくりをテーマとした奥川地域づくりビジョンを策定された。これまで、地域づくり講演会の開催、人足ボランティアや農業体験の受入れ、ドキュメンタリー映画の制作上映会など、様々な活動を展開中である。また、令和7年度開学予定のオンライン大学「ZEN大学（仮称）」との連携協定を締結した。

この他、協働のまちづくり推進委員会の「旧尾野本小学校講堂」の利活用グループ、中野区むらおこし実行委員会による様々な活動、先日には、町民有志6人による西会津初の子ども食堂「みんなのキッチン」が開催され、子どもから高齢者まで多くの人で賑わった。

こうした町や地域を想う様々な方々の取り組みや活動が、希望に満ちた未来へ繋ぐ大きな原動力になることを期待しているところである。

西会津町長 薄 友喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



森林・林業の発展へ向け結束 森林組合 60周年記念式典

町森林組合創立60周年記念式典が6月15日、野沢体育館で行われ、出席した関係者が節目を祝いました。森林組合は昭和39年に設立以来、町内の森林整備や森林環境保全に取り組んできたほか、後進の育成にも力を入れ、町林業振興の一翼を担ってきました。

今後も森林組合の果たす役割は大きく、町や関係機関などと連携を図り、森林・林業の発展に向け、取り組む決意を新たにしました。



子どもたちの歯科衛生の向上に尽力 学校歯科医 渡部晴彦さんへ感謝状贈呈

6月17日、町役場で学校歯科医感謝状贈呈式が行われ、補正堂歯科医院の渡部晴彦さんへ感謝状が贈られました。薄町長は「長年、子どもたちの歯の健康維持のためにご尽力いただきありがとうございました」と感謝のことばを伝えました。

渡部さんは、昭和60年度から令和5年度まで39年間、学校歯科医を務め、子どもたちの歯科衛生の向上に尽力されました。

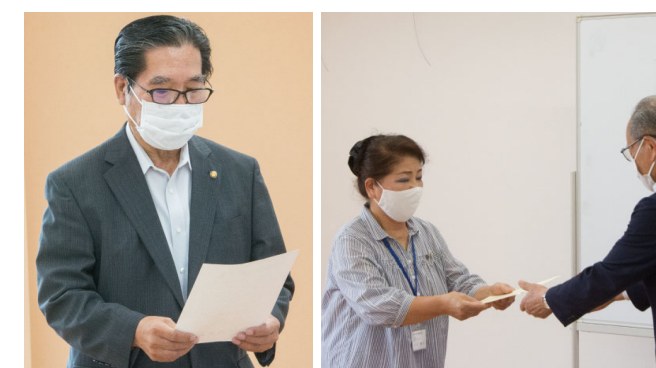


▲左から薄町長、渡部さん、五十嵐教育長

安心して安全な地域社会を築くために 社会を明るくする運動 大臣メッセージ伝達

社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安心して安全な明るい地域社会を築くために法務省が推進している全国的な運動です。

6月24日、町役場で第74回社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達が行われました。式では、喜多方地区保護司会の東條勝会長より内閣総理大臣メッセージが、喜多方地区更生保護女性会の花見弥生会長より福島県知事メッセージが薄町長へそれぞれ伝達されました。



▲東條 勝会長

▲花見 弥生会長